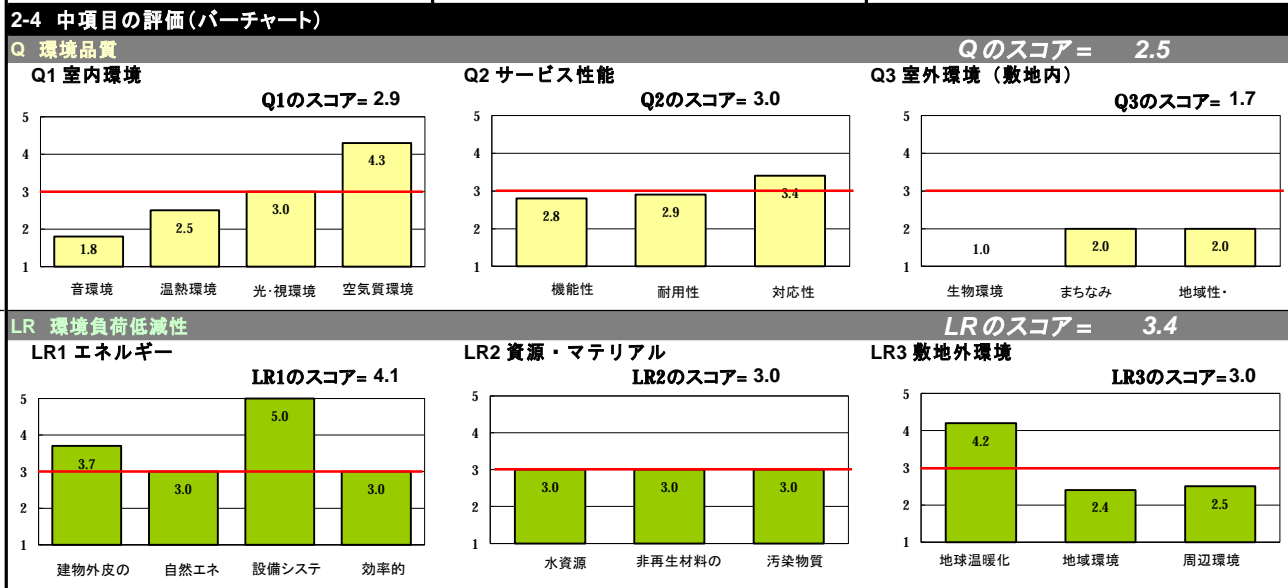
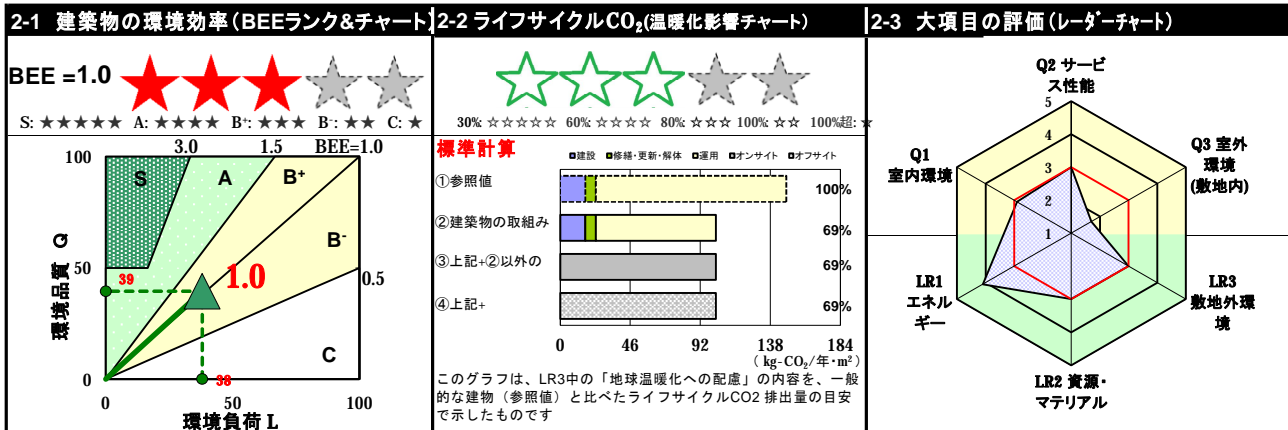


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ニトリ茨木南目垣店 新築工	階数	地上3階
建設地	大阪府茨木市南目垣・東野々宮土地	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,640時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年4月17日
敷地面積	7,665 m <sup>2</sup>	作成者	多田 貴英
建築面積	3,226 m <sup>2</sup>	確認日	2022年4月18日
延床面積	9,199 m <sup>2</sup>	確認者	小笠原 英視

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
隣接する建物へ圧迫感を生じさせないよう道路境界沿いを緑地にし周辺へ配慮しました。		特に無し。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
騒音発生源は極力地上に設置せず、3階ROOFに設置し、周辺への配慮を行いました。	売場天井高を、2階は3.99m・3階は3.50mとし内部空間に余裕を持たせました。	建物を可能な限り道路から後退させ、道路からの視界阻害を図った。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギー法に基づき行っています。	衛生器具は節水型を使用し、内部仕上材や接着剤、塗装はF☆☆☆☆を使用しています。	駐輪場や駐車場は周辺の道路に渋滞を生じさせない様、適切な台数やスペースを設けました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

【建物概要】	建物名称	(仮称)ニトリ茨木南目垣店 新築工事					
	建設地	大阪府茨木市南目垣・東野々宮土地区画整理事業1街区					
	用途/区分	物販店 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					4	
④	エネルギー削減					5	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.7	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		